

日弁連人権擁護大会プレシンポ
「諸外国に学ぶ、あるべき社会保障制度」
—被災地から見える我が国の問題点—

本年3月11日に「東日本大震災」が発生しました。

生活基盤を失った多くの方が、今なお避難所での生活を余儀なくされていて、生活再建の道筋すら明確にできていません。

他方で、政令都市市長会を中心に、生活保護を「期間限定とすべき」とするなど、社会保障の充実という観点からは後ろ向き意見も出されています。

日本国憲法には25条で「生存権」を保障していますが、その意味が今、問われているといえるのではないのでしょうか。

被災地の声などから、我が国の社会保障制度の問題点を考え、諸外国の制度も参考に、あるべき方向性を議論したいと思います。

日時 平成23年9月19日(月) 午後2時～午後4時
場所 佐賀大学教養教育運営機構2号館1階211番教室
(正門から入って左手、2つ目の建物1階)
(佐賀市本庄町1番地 TEL0952-28-8133)
参加費 無料 ・ 事前申込不要

プログラム

●基調報告「弁護士会の貧困問題への取組」

●パネルディスカッション

◆パネリスト

丸谷 浩介氏(佐賀大学経済学部准教授)

森 周子氏(佐賀大学経済学部准教授)

辻 泰弘 (佐賀県弁護士会会長)

甲木美知子 (同・貧困と人権に関する委員会委員長)

◆内容 ・被災地の現状と復興の課題

・諸外国の社会保障制度の概要 ・あるべき社会保障制度

●質疑応答 など

主催 佐賀県弁護士会

共催 国立大学法人佐賀大学 日本弁護士連合会 九州弁護士会連合会

お問い合わせ 佐賀県弁護士会 TEL 0952-24-3411